

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	私たちは「ふれあいの家百道」が笑顔で「その方らしく」過ごせる場所であってほしいと思います。皆様が安心して過ごせる居場所を作ります。また、地域の中で穏やかに過ごせるように援助します。と、独自の理念を作っています。職員がこの理念の実現に向けて日々取り組んでいます。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入居者様に書いて頂いた理念を玄関に掲示し、職員が毎日確認できるようにしています。また、ミーティング等において理念に沿った話し合いを行い、日々のケアが実践できるようにしています。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関に掲示した理念を家族にも見て頂き、家族懇談会でも再度説明させて頂きました。運営推進会議でも理念に沿った活動の様子や地域との関わりを報告しています。		
2 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩時などは地域の方々への挨拶を心がけています。この地域に住んでおられた入居者様とお宅を訪問したり、来苑して頂けるように声を掛けさせて頂いています。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域主催の清掃会、夏まつり、文化祭等には積極的に参加するようにしています。また、当事業所主催の花見会、餅つき会の案内を近隣の方々にお配りして来て頂いています。		さらに地域の保育園との交流をしていきたいと考えています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	介護でお困りの方がいれば、気軽に相談して頂けるようにしたいと思っています。近隣の方が入居されていることもあり介護についての相談を受けることがあります。		
3.理念を实践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回指摘された点をミーティングで話し合っ、みんなの意見を反映しながら改善できるようにしています。自己評価表はみんなで作成しています。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様の日頃の生活状況、取組み等の報告を行い、意見を頂ければ、すぐに対応して納得していただけるようにしています。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者らと運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議で包括支援センターの方には参加して頂いていますが、他の機関との交流も今以上に持っていきたいです。		今後、努力していきたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	生活の中で利用者様の態度、言葉からその思いを受け止め、運営に生かすようにしています。また、運営推進会議に出席された際に、ご意見を頂いたこともあり、きちんと理解できるように努めています。		研修などに参加して学んでいきたい。スタッフにもその機会を作っていきたいと思います。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修で「その人らしい生活」が実現できているか、自分たちの関わり方を振り返ることで、「虐待とは何か」「虐待はあってはならないこと」という意識を常に持ち、防止に努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだし解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分に理解、納得して頂けるよう契約書に沿って丁寧な説明を行っています。希望される方には事前に契約書をお渡しして目を通して頂いた上で契約させて頂いています。		
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が、意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	生活の中で利用者様の態度、言葉からその思いを受け止め、運営に生かすようにしています。また、運営推進会議に出席された際に、ご意見を頂いたこともあり改善に努めています。		
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回の家族宛の「ふれあい通信」にて報告を行っています。またご家族の来苑時にも常々報告を行っています。		
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来苑時に「何かあるときは気軽に言って下さい」とお伝えいいし、意見等を言って頂けるようにしています。出された意見はスタッフにも伝え、改善すべきことは改善しケアに生かせるようにしています。また、運営推進会議にも出席して頂き、積極的に発言をして頂いています。		
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の内部ミーティングにおいて意見を聞いたり、また日頃より職員とのコミュニケーションをとるようにしています。その他にも、月1回の施設長会議、担当者会議等を開催し意見を聞く機会としています。		
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員は十分に確保できています。通常は日中3人、夜勤1人のシフトを組み、レク時には職員を増やし、緊急時にはふれあい館内あるいは本部から応援してもらい職員を確保しています。		
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者様へのダメージを配慮して職員の頻繁な異動はありません。異動のあった場合は利用者様にきちんと説明します。ご家族から質問があった場合は、その都度説明させて頂き理解を得ています。また新しく採用した場合も必ず利用者様にご家族に紹介しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援				
19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用にあたっては性別・年齢等制限してません。本部での面接後本人の希望・人柄を拝見しその方にあった施設への紹介をし、その施設の管理者と再度面接・採用を決定しています。休みの希望は可能な限り調整しています。		
20	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	ふれあい会全体の研修で、利用者お1人お1人に対して、その方の思いを尊重した援助を行うことができるよう、どのような気持ちで向き合っていくかについて、自分自身で振り返る機会を持ち、新たな気持ちで取り組めるような研修を行いました。		
21	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護福祉士・介護支援専門員の資格取得の為、勉強会を持っている。参加する職員のシフトを調節している。外部研修の受講費の支援がされている。また、新規採用や異動時には、プリセプターシップを導入し、先輩スタッフが担当となり、指導や相談相手となっている。その他、ケアプラン勉強会も行っている。		
22	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ふれあい会の施設間ではメールや電話で情報の交換等を盛んに行っています。今後は他の施設とも行っていきたいです。		他の施設とも交流が持てるよう、研修等に参加し、交流する機会を作れるよう努力する。
23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休日の希望について可能な限り調整している。懇親会を時々外で行なっている。年に2回、個人面接を行い意見を言う・聞く機会を作っている。		
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めている	個々のアイデアを尊重し、運営に直結する事は実行してもらっている。研修の受講の促しや、研修費負担をしている。また、向上心のある職員には、上にあがっていける体制を整えている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>利用の相談があった場合、必ず事前訪問を行い、ご本人に会い、本人の状態や思いに向き合い、受け入れてもらえるように努めています。</p>	
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>見学や事前訪問のときによく話を伺い、何を求めているかを理解し、どのように対応するのかを職員で話し合っています。</p>	
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居が決定したら、家族、本人の思いを伺い、初期サービスのケアプランを作成しています。</p>	
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ご家族には初めに見学して頂き、できれば本人にも見学して頂いています。新しい環境に馴染んで頂けるように事前訪問を行い、見たことのある顔、自分のことを知っている人が新しい環境にもいることで、少しでも安心感を持って頂けるようにしています。また、どのように入居に関する話を本人にするのか等の相談を行い、その方にあった方法で行っています。</p>	
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>常に人生の先輩として、ご本人から学ぶ姿勢をもちながら共に生活することで、互いを理解して協力し合えるように努めています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には来苑時に生活の様子を伝えていきます。また、ご家族の思いを伺いながら、職員の考えをお伝えして「本人にとって何が良いことなのか」を互いに考えていけるように努めています。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している	ご本人とご家族のこれまでの関係を理解して、ご家族との時間を大切に過ごされるように配慮しています。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている	ご本人がこれまで大切にされてきた方々にはできるだけ来苑して頂けるように声を掛けさせて頂いています。またこちらから訪問したり、電話をかけたります。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様が寂しい思いをされないように声をかけ、また互いの関係がうまくいけるよう、見守り支援しています。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他の事業所に移られた方には家族の了解を得て、面会させて頂いています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>アセスメントシートを活用して、ご本人の思いや希望、意向の把握に全力で取り組んでいます。</p>	
36	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>アセスメントシートを活用して、ご家族やご本人から話を伺い、把握に努めています。また、入居前にサービスを利用されていた方や医療機関を利用されていた方については、それぞれの事業所からの情報提供書や実際に話を伺い把握に努めています。</p>	
37	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>おひとおひとりの生活の様子をよく見て、言葉や態度から心身の状態を理解し、できることできないことを把握するように努めています。</p>	
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>「何がしたいのか」を本人に伺い、本人の言葉で介護計画書を作成しています。また、ご家族にも意向を伺い、関係する医師、薬剤師の意見も聞き反映させています。</p>	
39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画のスケジュールに合わせて見直しをしています。状態に変化のある場合には、その都度本人の意向を伺い、新たな計画を作成しています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にカルテを作り、生活の様子、行動、言葉、気づきを細かく記録しています。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	常に満床のためショートステイとしての利用は難しい。ユニットでもあり、合同でレクリエーションを行ったり、フロアーを訪ねたりと交流をしています。		
4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	近隣の拘置所に出向き、災害避難時の援助・協力をお願いしました。また、校区の中学校の職場体験の受入を行っています。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の希望により、訪問美容サービス、訪問マッサージを利用しています。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	2か月に1回の運営推進会議に必ず出席して頂いています。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	隔週の往診を受けています。特変時にはその都度連絡をして指示を仰いでいます。また、必要があれば他科の医療機関を紹介してもらい受診しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり利用者や認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	担当医に相談して病院を紹介してもらっています。		
47 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	担当看護師はよく利用者のことを知り、こちらからも気軽に相談できる関係にあります。		
48 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時は、本人への支援方法に関する情報を医療機関に提出しています。また、職員がお見舞いに行き、家族とも話し合い、速やかに退院できるようにしています。		
49 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご家族の意向に沿って、何ができるかを話し合い、その都度説明しています。		
50 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご本人の気持ちを大切に、ご家族と話し合いながら、本人が安心して終末期を過ごせるよう取り組んでいます。急変した場合は、すぐに対応できるように医療機関と密に連絡を取っています。		
51 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移住する際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他の事業所に移られた場合は、情報提供書をお渡ししています。また、職員が訪問したりしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>おひとおひとを尊重して、丁寧な言葉づかいや、ご本人が人前で恥ずかしい思いをされることのない介助を心がけています。個人カルテなどは人目にふれないように管理しています。</p>	
53	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたりわかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたい納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>ご本人が何をしたいのか、何をしようとしているのかを考えて、話をするようにしています。また、納得した上で、生活して頂けるようにおひとおひとに合わせた説明をしています。</p>	
54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その方のペースに合わせ、また希望をできるだけ優先していただけるように支援しています。その方の思いに添って生活できるように柔軟に対応しています。</p>	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>ご本人やご家族が望まれるように、また今までの習慣を大切にして整容できるように支援しています。バッグ、帽子、化粧品等を買に行かれたり、化粧をされたり、行きつけの理容、美容室に行かれる方もいらっしゃいます。</p>	
56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>毎食職員と一緒に食事をしています。食材の買物、食事の準備、後片付けもできるだけ一緒にするようにしています。</p>	
57	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>ご本人の好みを理解して、状況に合わせて楽しんで頂いています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	時間や習慣を把握して、トイレの声掛けを行い、できるだけトイレでの排泄を促しています。ポータブルトイレを使用される方もいらっしゃいます。		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望にあわせて、気持ち良く入浴できるようにしています。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	生活習慣に合わせて、本人の望まれる休息を邪魔しないようにしています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事手伝いであったり散歩であったり書道であったりその方の望まれる楽しみができるように支援しています。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分で管理できる方にはお金を持って頂き、外出時に支払をして頂いています。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や望まれる場所など、希望に沿って外出できるように支援しています。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している	個別や、みんなで行く外出、外食を計画して月に1度は出かけるようにしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は希望に応じてできるようにしています。また、パレンタインデーにプレゼントを贈られる方もいらっしゃいます。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	友人、知人がよく来苑され、その時はゆっくりできるようお願いをお出ししています。		
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束とは？、身体拘束をしないようにするにはどうしたら良いかを常に考え、拘束をしないケアに取り組んでいます。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵はかけずに自由に行き来できるようにしています。見守りを十分に行い、外に行かれた場合は一緒に出ていきます。万が一に備え、玄関にセンサーをつけ、鳴ったら必ず見に行くようにしています。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者様がどこにいるのか常に把握するようにしています。リビングには必ず職員がいるようにして見守りをしています。席を外す時は声を掛け合っています。居室におられる方は時間をみて、ノックをして訪室し声を掛けています。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ひとりひとりの状態に応じて管理しています。刃物や針を使う場合は見守りを十分に行います。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	現在の状況を把握し、ひとりひとりに応じた事故防止に取り組んでいます。また、事故が起きた場合は、事故報告書を作成し、対策を話し合い、家族に報告しています。薬に関しては服薬時に2人で確認を行っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	シフトを調整し、可能な限り救命救急講習には参加しています。		全員が参加できるように対応していきたい。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人の協力を得られるよう働きかけている	夜間、昼間の火事、地震等を想定し、年2回避難訓練を行っています。近隣の拘置所に出向き、災害避難時の援助、協力をお願いしました。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	ケアプラン作成時、アセスメントとともに、伴うリスクも考えています。必要があれば、ご家族にも説明しています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の異変に気付いたら、バイタル測定を行い、場合によってはすぐに医師に報告し、指示を仰いでいます。またどんな些細な事でも気付いたことがあればカルテに記入し、情報を共有し、対応しています。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	現在服薬している薬の目的、副作用等はケアプランに細かく記載しています。薬が変わった場合はカルテ、連絡帳に記載し、全員が把握できるようにしています。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	日頃から適切な水分摂取をし、食事は野菜を多く摂るようにしています。また、便秘がちな方には乳製品を多く摂るよう支援しています。主治医と相談し、その方の状態に合った緩下剤を服薬している方もいらっしゃいます。		
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯科医師の指導のもと、毎食後口腔ケアを行っている。		促してもされない方もおられるので、なるべく毎食後して頂けるようにする。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ひとりひとりの状況に応じて、ご飯の量などを調整しています。またなるべく水分を取って頂けるように声掛けを行っています。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作り手洗い、予防接種等を行っています。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	マニュアルに沿って布巾、まな板は毎晩漂白しています。冷蔵庫の中の食材も鮮度、消費期限を頻りにチェックしています。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	明るい雰囲気になるように、花やご家族の作られた人形を置いています。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常時リビングには、入居者様に活けて頂いた生花を飾り季節の花を楽しんで頂いています。テレビや音楽のボリュームはその時の状況に合わせて調節し、直射日光が射し込む時はカーテンを閉めるなどの配慮をしています。		
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル、座席の配置を考慮してご自分のペースで生活できるようにしています。また、リビングとは別の場所にソファを置きくつろいで頂いています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内には、ご本人の使い慣れた物を持参して頂いています。また、好きなもの、気に入ったものを置いて頂き居心地良く過ごして頂いています。		
86	換気 空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	24時間換気を行っています。また、窓もこまめに開け換気しています。空調は冷やし過ぎず、暑くし過ぎずを心がけ、利用者様の要望に応じてその都度調節しています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、風呂場、廊下には手すりを設置し、また玄関から段差のないフロアとなっています。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居者様の理解度に応じ、名札や目印を付けています。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで活動できるように工夫している	ベランダのプランターには花を植えて利用者が水やりをして下さっています。		

.サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の 2/3 くらいの	
		利用者の 1/3 くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の 2/3 くらいと	
		家族の 1/3 くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の 2/3 くらいが	
		職員の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の 2/3 くらいが	
		家族等の 1/3 くらいが	
		ほとんどできていない	

【時に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者様おひとりおひとりが、共同生活であるという制限された中でも、できるだけ自然体で言いたいことが言え、無理なくご自分のペースで生活ができる場を提供していきたいと考えています。入居者様おひとりおひとりに職員がきちんと向き合って対話ができるようにしていきたいと思ひます。